

久門正雄 著者 美術評論家、歌人。明治二十五年愛媛縣生まれ（二八九一）。
一松學舎の學ぶ教育界に奉職、昭和十四年以降著述に専心。石の鑑賞
の境地を開いた。

著書に、歌集『赤とんぼ』（真砂丘名、大正四年十一月十日一橋堂書
店）、歌集『春宵』（久門真砂丘名、大正十一年五月一十五日愛媛・
自刊）、『伊藤鐵石のいづこの聞書とその作品』（昭和二十八年四月
二十五日愛媛・西條史談會「東條史談」）、『小さい足跡―生死・運
命・神はどりのこと』（昭和二十三年六月一二十日理想社）等。

